昭和24年10月10日
第三種郵便物認可

人の動き

総人口	147,090
男	74,749
女	72,341
世帯数	38,094
面積	41,255km²

39年4月1日現在

行政苦情相談

国や府、市の行政についての苦情や相談は毎月第四木曜日の相談日をご利用ください。

とき　5月28日
　　午後1時～4時
ところ　市民相談室

八尾市時報

昭和39年4月25日　第261号

人権擁護相談

人権を侵されてお困りの方はご遠慮なくご相談におし下さい。

とき　5月17日(水)
　　午後2時～4時
ところ　人権相談室
相談は密密は固く守ります

発行所 大阪府八尾市役所
編集兼発行人 池田義彦
印刷所 サンケイ印刷株式会社
毎月2回(5、20日発行)
発行部数 28,000
定価 1部 5円

鈍化する市税収入
予算は重点主義で
事務管理経費を節約

39年度一般会計予算17億9百万円

総額十七億円にのぼる三十九年度の八尾市の予算は、三月の定例市会で可決されました。

市の財政は、歳入の大部分を占める市税収入の伸長率がにぶくなってきた一方、歳出の面で、生活保護の基準の引上げ、老人福祉法の制定にともなう扶助費の増加、職員給与の改正など義務的な支出経費が大巾にふえ、非常に苦しい内容になってきました。

このため今年度の一般会計予算（総額十七億九百三十八万円）は事務費などの管理的経費をできるだけ節約し市民生活に関係の深いものに重点的に配分しました。特に社会福祉、環境衛生の整備、産業振興などに要する経費は、三十八年度より増額しています。事業費では、道路の維持補修、排水路の改修整備、教育施設の改築補修、同和事業に重点的な配分を行ない、継続事業の公共下水道築造事業費や市民会館建設費なども計上しました。

これら計上した経費の使途の概要は次のとおりです。

民生関係

① 身体障害児福祉金、精神薄弱者福祉金制度を新設した経費
② 生活保護費など扶助費の増額
③ 老人福祉の扶助費、補助費の増額
④ 児童福祉の扶助費の増額と幼児保育の充実をはかるため新たに家庭保育あっせん制度を新設した経費

衛生関係

① 清掃作業の能率をあげるためブルトーザー、大型ダンプ車を購入する経費
② 蚊・ハエを駆除する薬剤散布車の購入費と般市薬剤費
③ 予防接種、成人病検診の拡大のための経費

労働関係

① 市民会館建設費（市民一般の集会に、また教養、レクリエーションの場として利用できる施設）

産業関係

① 市単独で行う物産展開設助成費
② 商店街近代化診断委託費

土木関係

① 道路新設改良事業として、木本―田井中線、志紀十七号線、別宮―中田線、太田―柏原線、神宮寺―法善寺線、竹渕―出戸線の新設事業費、その他市道の拡巾と橋梁のかけ替え、補強などの経費
② 道路舗装事業費（市道舗装に重点をおき、前年に引続き全延長の四分に相当する舗装を行ない四十二年度までに総延長の三〇%に達する舗装を目標においています。）
③ 下水路、排水路の改修、浚渫費
④ 第九次町名地番改正と住居表示改訂費
⑤ 近鉄北側線の用地買収費と家屋移転補償費、高安山観光道路児童公園の維持管理費
⑥ 市営住宅建設費（大正地区に二十戸建築）
⑦ 不良住宅の除却清掃と低家賃住宅建設の経費
⑧ 上代川上流の改修事業費

教育関係

① 小中学校理科教育の振興のための経費の増額
② 小中学校の給食、教科書用図書、学用品、修学旅行などの就学奨励経費と養護学童、生徒の補助経費の増額
③ 学校営繕費の大幅な増額
④ 青少年非行化防止対策として相談室新設経費
⑤ 教育施設の改築、転用改造費
⑥ 志紀小学校老朽校舎の改築として鉄筋三階建（九教室）二〇八坪（六八六平方メートル）の建設費と行政小学校、食堂改築費
⑦ 八尾中学校校舎改築として鉄筋三階建（七教室、七管理室、一図書室）三七〇坪（一、二二一平方メートル）の建設費と曙川中学校（二教室）七七坪（二五四平方メートル）の増築費
⑧ 桂小学校用地三〇〇坪（九九〇平方メートル）の購入費と整地費

広い視野から教育を
民間から社教委員選任

社会教育の重要性は遠近、ますます高まっていますが、今度、新しく制定された社会教育法にもとずいて、当市でもはじめて社会教育委員が任命されました。

社会教育は分野が広く、ゆりかごから墓場まで、人間が社会生活を営むかぎり、人生コースのすべてが社会教育の対象といえます。成人学級、こども会、老人クラブ幼児教育などすべてこの方面にわたっています。

こうした多種多様に別れている社会教育の相談役として民間から選ばれたのが、社会教育委員というわけです。それだけに顔ぶれも、主婦、学校の先生、会社重役など各層の良識が委員として任命されています。

主な仕事は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に答えるなどですが、教育委員会に出席して社会教育に関する意見をのべたり、社会教育関係団体の指導者に助言を与えたり、指導したりすることもできます。

このように活動分野は広く、社会教育委員の豊富な経験と識見が、"明るい町づくり"のため十分に反映されることでしょう。

新しく任命された委員は次の通りです。

田中喜久三（八尾高校長）鳥木金一（八尾商工会議所会頭）田中誠三郎（ロータリークラブ役員）北畑金治（ライオンズクラブ役員）木田梅吉（市議）坂東六郎（市議）伊藤勝治（八尾市体育連盟会長）辻田常三郎（八尾市連合青年団長）橋内勝（会社社長）太城正志（青少年指導員）

締切りは四月三十日
八尾市奨学資金交付

社会に役立つ人材を一人でも送り出そうと、当市では奨学生の募集をしています。これは市内に居住している高校生で、家庭が貧しい人たちのために設けられているものです。

今年の募集人員は昨年より二十人ふえ、三十人となりました。応募する高校生は、次のような事項を書いて学校に提出して下さい。

一、学年は問いません。期日は四月三十日まで学校から市教育委員会へ出願用紙を提出することになっているので、それまでに学校へ申し出て下さい。

なお、くわしい問い合わせは八尾市教育委員会まで。

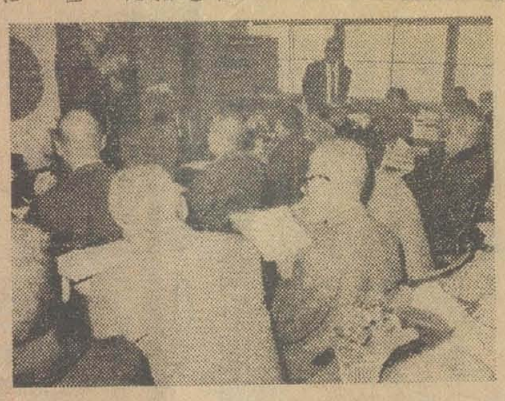
防犯灯を寄贈
ライオンズ

完成した防犯灯

かねてから防犯活動、交通安全運動の推進に積極的な、八尾ライオンズクラブ（早川真吉会長）から、このたび防犯灯設置費として、二十万円のご寄付をいただきました。八尾防犯協議会（大橋清次会長）では、早速警察当局と協議して安中、植松、八尾駅、瘧振の四児童公園に、鉄柱四百ワの水銀防犯灯を新設しました。

とかく少年犯罪の場となりやすい公園も楽しい場所となり、この防犯灯で明るい町が築かれるでしょう。

若いものに負けずに
―老人大学は定員オーバー―



三月七日、福祉会館で第四回「老人大学」の入学式が行なわれました。

これは、おとしよりの若い込みを止め、逆に若返って、苦い者と話しあえる老人になっていただくことをねらいとしたものです。

最近、おとしよりのクラブ活動が盛んになり、研究意欲も旺盛で、今回も定員をはるかにオーバー、この日はずらっとおっしゃる六十九人が入学されました。

この大学は五月までの三カ月間五回にわたって開かれ、三月の第一日には「老人クラブを語りましょう」というテーマで片岡民生部長の話がありましたが、続いて四月には「愛される老人になるために」―沢井府心配ごと相談所長、「老人福祉法」―石井社会課長、五月には、老人医学「長生きするために」―日赤大阪府支部、郷土史「私たちの八尾」―西岡社協会長などのお話のほか、座談会、映画観賞会が予定され五月二十九日、卒業式と修学旅行が行なわれることになっています。

英語研究会受彰

八尾英語研究会（YKESS）は、このほど府の教育委員会から優秀社会教育小集団として表彰されました。

これは英会話を通じて良い人間関係、国際文化の交流への努力に対するものです。

人事異動

市立病院の機構改革にともない四月一日付で人事異動がありました。従来の事務室は事務局と改称局内に医業課と庶務課が設けられました。

△事務局長―川見三七雄（庶務課長、企業出納員兼務）△医業課長―松村福三郎（管理係長兼務）△庶務課長補佐―南野秀秋（庶務係長兼務）△庶務係主査―寺尾正三△医業課課長係長―梶年夫△管理係主査―乾行雄

新職員配置

四月一日付で市職員となった二十五名の配属が次のように決まりました。

―四月十三日―

総務部秘書課―柏原清子（事務員）、人事課―脇屋博年（同）、人事課付―林総一郎（同）、小崎光弘（同）、同野徳子（同）、財政部税務課―松田崇明（同）、中西豊治（同）、民生産業部福祉事務所―松本一夫（同）、田村清男（同）、市民課―細田泰司、土木課―森永忠晃（同）、井上美智子（同）、市民（技術員）、建築課―臣石正勝（同）、小林昇（同）、社会課西郷（事務員）、小林正和（同）、教育委員会―田中宏幸（同）、仮口文夫（月）

―5日と20日の二回発行―
市の"お知らせ"はすべて時報でお伝えします

八尾市時報 5月から増刊

本紙の発行回数が、五月から五日と二十日の二回になります。

この増刊は、"お知らせ"面を充実して、各種の予防注射をはじめ日常生活に密接したすべての市の行事をお伝えするためです。

このほかもっと親みやすい紙面にするためいろいろと紙面企画を検討していますがご意見があればどしどし係までお寄せください。

四月は準備の都合で十日と本号（二十五日）二回、発行しました。

―広報係―

健康相談 欄を設けます

本時報の五月五日号紙面から「健康相談」欄を設けることにしました。この欄は、市民の方々の健康上の相談や、病気についての悩みに答えるもので、市立病院の各医長が担当します。

健康や病気についてのご相談は本欄をご利用ください。ご質問は必ず葉書にかいて、「健康相談」と朱筆し、八尾市立病院（八尾市太子堂一二二の一）または八尾市総務部秘書課広報係へ。

なお、回答は本紙面に限ります。

八尾市立病院

昭和39年度予算
―一般会計

【歳入】

	(千円)
市税	1,067,500
交付金	4,000
地方交付税	10,000
分担金・負担金	3,362
使用料・手数料	55,964
国庫支出金	236,576
府支出金	47,758
財産収支	4,683
寄付金	10
繰入金	49,965
繰越金	26,332
諸収入	87,236
市債	86,000
計	1,709,386

【歳出】

議会費	39,839
総務費	335,793
民生費	275,414
衛生費	146,202
労働費	66,020
産業費	34,033
土木費	333,567
消防費	66,348
教育費	297,938
公債費	107,609
予備費	6,623
計	1,709,386

【歳出】―経費別―

人件費	641,441
物件費	149,729
維持費・修繕費	45,445
扶助費	265,118
公債費	107,609
繰出金	7,000
積立金	12,185
他会計への貸付金	474,236
予備費	6,623
計	1,709,386

将来の土地利用計画含め
街路計画を樹立

まず、幹線街路基本計画の樹立と道路整備ですが、本市は過去において、都市としての基本的な施設、特に中学校生徒急増対策、災害復旧、し尿処理施設の整備などに最も重点的に予算の配分を行なってきた関係上、道路整備については立遅れをきたしていることは否定できません。このままでは、今後の市発展の隘路となるものと考えられます。

市政方針
―つづき―

前号掲載分を要約すると―近年の質量ともに増大する市民の市に対する欲求にこたえるため、市の責務、事務量も急激にふえ、広域行政の必要性も高まっている。しかし、地方財政も一昨年から次第に低下しているので、対策としては重点主義によるほかはない。その施策の重点は、①幹線街路基本計画の樹立と道路整備②環境改善の推進③上水道事業の推進④同和事業の推の四点におく。―というものです。

ご存知のとおり、中央環状と外環状道路は、本市域の東と西を南北に縦貫し、さらに名阪国道も本市の南部近くを走り中央環状道路に連絡することに決定を見ていますが、これらの国、府の計画による幹線道路は、おそらく本市の将来における基幹道路となるものと考えられます。他面、一般民間の住宅、工場建設は無秩序、かつ、急速に進行している関係上、市はこれらに先行し、先の基幹道路との有機的連関をもった将来の土地利用計画を含めての街路計画の早期樹立に着手することが、目下の急務であると考えますので、これに基ずいて強力に事業の推進をはかりたいと存じます。

さて、新年度予算においては、三十八年度から着手した近鉄北側線を重点的に推進するよう措置し併せて、寝屋、曙川線の府道移管と早期完成ならびに平野、中高安線の工事促進について、積極的に府と接渉を行なってゆきたいと存じます。なお、一般市道については、木の本田井中線、桂福万寺線志紀十七号線など、継続事業の完成に重点をおき、さらに、隣接相原市との連絡道路ならびに交通麻ひ対策として太田柏原線、神宮寺法善寺線および竹渕出戸線の新規着工をはかり、さらに楽音寺服部川線、恩智天理教線などの拡巾を実施するよう措置した次第です。

道路維持補修と舗装については本年度から特に強力にすすめてきましたが、新年度においても引続き重点的に予算の配分を行ない、各部落毎の幹線道路の舗装を中心にその積極的な推進をはかることとし、今後三ヵ年計画をもって、市道総延長に対し、その舗装率を三十%まで引上げたいと考えています。

また、高安山観光道路については、引き続き実施をすすめ、岩戸神社への取付道路と、自動車駐車場の新設により第一期工事の完成をはかる予定ですが、これと併行して本市東部山麓地帯ならびに高安山の開発をはかるために、隣接柏原、放出両市に通ずる東部山麓道路の築造をはかるため、関係市とも相協力して府に強く要望する考えです。

なお、現在の本市住宅協会発改組して、市議会議員諸氏の中からもご参加をお願いし、その充実強化をはかり、公共用地確保の先賃いを積極的に推進し、本事業の円滑化をはかる所存です。

環境改善事業に努力
完成急ぐ塵介処理場

次に環境改善の推進ですが、最近各都市においては、衛生施設、とりわけ、し尿処理、じんあい処理施設の整備にゆきずまりをきたし、衛生行政に困窮している折柄、本市においては既に、し尿処理施設の完成をみ、じんあい焼却施設についても、大阪市との行政協力により、共同処理の決定を見ていることは誠に幸いです。すなわち、し尿処理場については、現有施設の効率的な活用ができうるよう特に配慮すると同時に、くみ取り不法投棄問題については、委託業者の指導につとめ、じんあい焼却施設については、大阪市において、いよいよ新年度から工事着工の運びに至る予定ですが、早期完成について要請を続けたいと考えています。じんあい収集については、最近の住宅、工場の増加、あるいは自家処理の減少により激増の傾向にあり、昨年機構改革において清掃課を独立し、本事業の円滑化をはかってまいったのですが、新年度においては、清掃作業車の整備と機動力の強化につとめ、さらに作業方法の合理化、人事管理面における作業能率向上等を通じてより積極化をはかりたい所存です。

また、予防消毒面についても、消毒作業車の装備によって機動力を強化し、能率的に事業をすすめてまいるよう計画しています。

また、都市排水については、昨年機構を整備して、窓口の一本化を実現いたしましたが、新年度においては、更に公共下水路、家庭排水路の整備清掃並びに、市街地浸水対策事業としての中野排水路新設工事も、引続き推進する考えです。

なお、都市づくりの基本的重要事業である公共下水道築造事業については、昭和四十年度から着手が予定されている東大阪広域下水道建設計画、あるいは国庫補助とも調整を加えながら、基本計画にしたがって積力的にその進捗をはかり、新年度において西部幹線の近鉄以北地域の完成を期したいと考えています。また、これと関連をもつ第二寝屋川開掘工事の早期完成についても、議会の関係委員諸氏とともに関係機関に対し、強く運動を行なう所存です。

六年計画で三億円投下
第三次水道拡張事業

次に上水道事業の促進ですが、近時の急激な人口増加による給水戸数の増加ならびに生活水準の向上に伴ない、給水量は、上昇の一途をたどっており、さらに今後本市の発展に伴い使用量の激増も必須の現状です。これに対処する根本対策として設備の拡充、給水能力の増大をはかるため第三次拡張事業を計画し、総事業費十五億円をもって、六か年継続事業として本年度から着工することにしました。

新年度は、本拡張計画の第二事業年度として、本格的に事業の進捗をはかる所存です。すなわち、府直外環状道路に布設される大阪府営水道管から、服部川及び志紀地区において分水をうけ、これを市内に導入すべく、総事業費約三億百万円をもって関連工事を進める考えです。

服部川においては、日量約三千立方㍍を受水し、高安及び恩智地区の水不足を解消するとともに、高安駅方面にも、給水管を布設し今後の住宅、工場の増加に備える予定です。なお、服部川において環高約八十㍍の山地に揚水し、市の中心部まで通水する計画ですので、外環状道路沿いの地点に受水場を建設することとしました。その他各地域における夏期の断水、濁水の防止をはかるため、維持管理についても充分の配慮をする所存です。

しかしながら、経営収支は、工事費、維持管理費、受水費並びに人件費等の増嵩により急速に悪化しており、料金改定を行なうべき時期とも考えられるのですが、公共料金引上げ抑制の立場から、新年度においては、経営の合理化に努め、極力経費の節減をはかるとともに、不用となった志紀水源池を処分し、この臨時財源をもって措置することとして、料金改定については、昭和四十年度において改めて根本的に再検討してまいる所存です。

同和改善事業を推進
改良住宅66戸を建設

次に同和事業の推進の問題ですが、本問題については、従前から当市政の重要施策としてとりあげ強力にこれを推進してきたのですが、新年度においても、さらに積極的にその推進をはかって行く考えです。

道路、排水路の整備等環境改善事業、職業育成のための施策、あるいは同和生業資金の貸付制度、また、補修教育等、各面にわたり従来に引続き、さらにその強力な推進をはかるよう措置することとし、特に不良住宅改良事業については、新年度において、新規に六十六戸建設のための予算措置を講じるとともに、不良住宅の除却清掃についても、その円滑な事業の推進について特に意を用いてまいりたいと考えています。

そして、これら各種の施策を通じて誠意と情熱をもって、より一層真剣にその推進をはかってまいりたいと思います。

以上新年度市政の重点について申し上げましたが、このほか、教育並びにその施設の充実、社会福祉事業、産業振興等、不可避の事業の充実についても放置できないことは申すまでもないところです。

26教室を増改築
教育

まず、教育関係につきましては新年度において志紀小学校九教室の改築、ならびに八尾中学校老朽校舎の七教室、七管理室、一図書室の増改築を中心として行ない、その他曙川中学校の二教室増築、竹渕小学校給食場改築工事等、教育施設の充実、改善を重点的にすすめる考えです。なお、市内各学校の営繕については、平年度の三倍に相当する予算額を計上し、現有施設の老廃を防止し、その効用を高め、管理に万全を期する所存です。

また、学校一般経費につきましても、可及的にその水準を高めることに留意し、特に貧困家庭児童の就学奨励については範囲を拡げ小中学校理科教育の振興に併せ学校備品の充実をはかるように措置し、また、青少年対策については、組織の一元化をはかり、相談室を設けるなど、今後なお一層の配慮を加えたいと考えます。

幼稚園については、最近幼稚園が単なる保育の場としてのみならず、人格形成の重要な時期における初等教育の場として、その重要性を増す傾向にありますので、その施設運営については合理的経営の面から検討を加えつつ存続し、段階的に整備をはかる所存です。

精薄、身障者に福祉金
福祉

次に、民生福祉関係につきましては、新年度から国において生活保護基準を十三%引上げられ、被保護階層の生活内容の向上をはかられたのに伴い、本市においてもこれに即応した対策を講ずるとともに、老人福祉対策についても、扶助費、補助費の増額をはかり、また、新に国の施策の中でまだ福祉年金や扶養手当等の対象とならない重度の身体障害児並びに精神薄弱者に対し、福祉金を支給し、これら心身困難者の更生援助のための制度を創設することとし、これに関する予算措置を講じるとともに、本議会に関係条例のご審議をお願いするため提案した次第です。また、幼児保育の充実をはかるため、家庭保育あっせん制度の新設を計画し、民生福祉行政についても意欲的にその推進をはかる所存です。

経営改善を指導（産業）

次に、産業振興ですが、まず、農業振興については、土地改良事業の推進と花き園芸等の特産品振興など、近代的な近郊農業としての経営改善の促進、指導に意を用いたいと思います。

商工振興については、商工会議所等との連繋を一層緊密にして、国の中小企業に対する諸施策に対応し、本市の特殊事情を考慮しつつ、国際見本市や物産展を通じて区域外への販路の開拓、拡張につとめ、金融対策についても、その円滑化をはかる所存です。特に、関係者の間において強く要請されかつ、意欲的に推進の動きのある商店街近代化事業については、市としてもその実現をはかるため積極的に協力したいと考えます。

また、工場誘致については、用途地域の指定を含めた都市計画の基本的総合開発計画の中において公害問題、道路整備ともあわせ都市機能の低下と生活環境の悪化をきたさないよう十分な配慮を加えながら、より一層強力に推進する所存です。

全市の町名を改正へ

その他、町名地番の改正、住居表示制度の実施については、昭和四十二年三月までに市街地全域に実施することを目標として引続き精力的にすすめ、市営住宅については、新年度から三ヵ年計画をもって毎年度二戸づつ建設したいと存じます。

また、労働行政の一環として、市民会館の建設を計画しました。市民の大半が勤労者をもって構成されている本市では、市民一般の集会に、また教養リクレーションの場として、広く利用し得る施設の必要性が痛感されますが、特に関西線以南の地域に、この種の近代的施設が皆無である現状から、商業地域の適当な場所に本会館を建設し、当地域における勤労者、市民に文化、教養のセンターとしたい所存です。

（以下次号へつづく）

消防記念日に表彰

自治体消防発足十六周年の消防記念日を迎えた三月七日、消防署で、消防協力者と優良職員の表彰式が行なわれました。

【民間協力者】消防長表彰
▽奥川卓爾、同昭子（教興寺一三五の五）―昨年十二月十七日、黒谷一七三平尾方の出火に際して、早期発見通報と消火協力によるもの。▽丸尾鶴太郎、同光子、同矩子、同久美子（恩智一二四九）―昨年十二月二十二日、恩智安養寺裏山の出火に際しての消火協力によるもの。▽二谷忠夫（竹渕八二の一）―去る二月七日、竹渕八一の日下方の出火に際しての早期発見と消火協力によるもの。

【優良職員】―市長表彰
▽山際正治郎（消防士長）―永年勤続二十五年以上　▽藤本貞一（消防司令）中井正治、石坂昌則　大谷福之進（以上消防士）―永年勤続二十年以上　▽石谷茂雄（消防士長）小沢民郎（消防士）―勤務成績優良。

黄色い帽子をおくる
市内十一校　一年生全員に

近畿地方では、毎月十五日を「交通安全デー」として、二府四県が足並みをそろえ、交通事故をなくす運動を進めていますが、大阪府では、交通事故による死傷者の約半数が歩行者の事故で占められています。

特に、毎年四月になり、新しい小学生が誕生する頃になると、児童の交通事故が増える傾向があります。この児童達の事故をなくすため「こどもを交通事故から守りましょう」と、全国的な運動をくり拡げている「黄色い帽子の会」―賀陽邦寿会長―が十五日八尾市内十一校新入学生全員（千七百四十六人）に、交通安全色の黄色い帽子を贈りました。この日午前十時半、八尾小学校には近くの安中小学校などから来た一年生の代表約五百人が集まり、千八百個の黄色い帽子をもらいました。

この贈呈式には、大橋市長や畑中市議会議長も出席しましたが、大橋市長は集った児童に、「この帽子をいつもかぶって、よく交通規則を守りましょう」とわかりやすく話していました。黄色い帽子をもらった新入生の児童は「早速この帽子をかぶり「こどもを交通事故から守りましょう」と書いたプラカードや風船を持って、市内をパレードしました。（写真―市長に黄色い帽子をかぶせてもらう児童）

―子供を交通事故から守ろう―

おしらせ

自動車運転手講習会

春の交通安全運動の実施に伴なって、次の日程で、自動車運転者の講習会を開きます。ご都合のよい日に、運転免許証を持って、みんな出席するようにして下さい。

△二十五日（土）電華中学校講堂△三十日（木）六正中学校講堂△五月四日（月）八尾自動車教習所講堂△五月七日（木）久宝寺中学校講堂△五月八日（金）志紀小学校講堂

なお時間はいずれも午後七時と九時の二回です。

労働会館講座―労働会館で行なう今年の講座がきまりました。講座の種類、申込日、条件その他は次のとおりです。

▼料理講座―すでに二十四日申込みを締切りましたが、市内の勤労婦人、一般婦人を対象に、来年三月まで毎月二回開きます。

▼謄写技術講座―申込みは五月十五日限り、先着順に受付けます。定員は百二十人で、第一組は五月二十九、三十、三十一の三日間、第二組は六月三、四、五の三日間が講座日。八尾市内に勤務先をもつ勤労者なら誰でも受講できます。

▼コーラス―申込みは四月三十日限り。定員四十人、五、六、七の三ヵ月間、毎月木曜日午後六時に開講します。対象は市内勤労者。

▼民踊講座―オリンピック共賛の東京五輪音頭、しあわせ音頭などを習うもの。申込みは四月三十日で定員は三百人。五月と七月の毎月水、土の二回午後六時から開きます。対象は一般、勤労市民。

▼働くものの美術展―勤労市民の製作品展で、六月七日から一週間労働会館で開かれます。般入その他については未定です。

これらの講座の応募については、労働会館で受け付けます。

飼犬登録　と狂犬病の予防注射は次の場所で。時間は午前十時から午後三時半まで。

▽四月二十七日（月）労働会館
▽二十八日（火）志紀東宝劇場前
八尾市役所